

學問ノス、メ

ノス、メ

全

記念文庫  
大阪府立學和田中學校

書四

名氏	住所	寄附者住所氏名
山田 文彦	山田 文彦	山田 文彦

教育

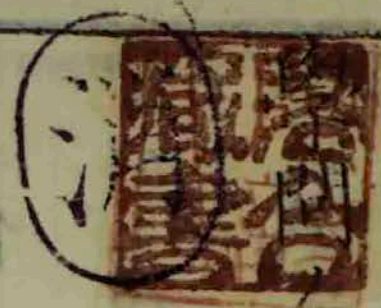
M /

// - /

和漢書目錄

860

寄贈者名	寄贈年月	員數	
記念部	年 月	共 十 一	真 一 三 四 號



教育雑誌  
**紀念文庫**  
 大阪府立岸和田中學校



福澤諭吉

小幡篤次郎

同著

○天ハ人ノ上ニ人ヲ造ラズ人ノ下ニ人ヲ造ラズト云  
 ヘリサレバ天ヨリ人ヲ生ズルニハ萬人ハ萬人皆同  
 位ニシテ生レナガテ貴賤上下ノ差別ナク萬物ノ靈ヲ  
 ル身ト心トノ働ヲ以テ天地ノ間ニアルヨロヅル物ヲ

資リ以テ衣食住ノ用ヲ達シ自由自在互ニ人ノ妨ヲナ  
サズシテ各安樂ニ此世ヲ渡ラシメ給フノ趣意ナリサ  
レドモ今廣ク此人間世界ヲ見渡スニカシコキ人アリ  
ヲロカナル人アリ貧シキモアリ富メルモアリ貴人モ  
アリ下人モアリテ其有様雲ト坭トノ相違アルニ似タ  
ルハ何ツヤ其次第甚ダ明ナリ實語教ニ人學バザレバ  
智ナシ智ナキ者ハ愚人ナリトアリサレバ賢人ト愚人  
トノ別ハ學フト學バザルトニ由テ出来ルモノナリ又

ドモ其本ヲ尋レバ唯其人ニ學問ノカアルトナキトニ  
由テ其相違モ出来タルノミニテ天ヨリ定タル約束ニ  
アラズ諺ニ云ク天ハ富貴ヲ人ニ與ヘズシテコレヲ其  
人ノ働ニ與ルモノナリトサレバ前ニモ云ヘル通り人  
ハ生レナカラニシテ貴賤貧富ノ別ナシ唯學問ヲ勤テ  
物事ヲヨク知ル者ハ貴人トナリ富人トナリ無學ナル  
者ハ貧人トナリ下人トナルナリ

○學問トハ唯ハツカシキ字ヲ知り解シ難キ古文ヲ讀

和歌ヲ樂ミ詩ヲ作ルノド也上ニ實ノヲキ文學ヲ云  
フニアラズコレ等ノ文學モ自カラ人ノ心ヲ悅バシメ  
隨分調法トルモノナレト古來世間ノ儒者和學者ナド  
ノ申スヤウサマデアガメ貴ムベキモノニアラズ古來  
漢學者ニ世帶持ノ上手ナル者モ少ク和歌ヲヨクシテ  
商賣ニ巧者ナル町人モ稀ナリコトガタメ心アル町人  
百姓ハ其子ノ學問ニ出精スルヲ見テヤガテ身代ヲ持  
崩スナラントテ親心ニ心配スル者アリ無理ナラヌコ

トナリ畢竟其學問ノ實ニ遠クシテ日用ノ間ニ合ハヌ  
證據ナリサレバ今斯ル實ナキ學問ハ先ツ次ニシ專ラ  
勤ムベキハ人間普通日用ニ近キ實學ナリ譬ヘバイロ  
ハ四十七文字ヲ習ヒ手紙ノ文言帳合ノ仕方算盤ノ稽  
古天秤ノ取扱等ヲ心得尚又進デ學ブベキ箇条ハ甚多  
シ地理學トハ日本國中ハ勿論世界萬國ノ風土道案内  
ナリ究理學トハ天地萬物ノ性質ヲ見テ其働ヲ知ル學  
問トハ歴史トハ年代記ノクワシキ者ニテ萬國古今ノ

有様ヲ詮索スル書物ノリ經濟學トハ一身一家ノ世帯  
ヨリ天下ノ世帯ヲ説キタルモノリ修身學トハ身ノ  
行ヲ脩メ人ニ交リ此世ヲ渡ルベキ天然ノ道理ヲ述  
ルヒノナリ是等ノ學問ヲスルニ何レモ西洋ノ翻譯書  
ヲ取調ベ大抵ノ事ハ日本ノ假名ニテ用ヲ便シ或ハ年  
少ニシテ文オアル者ハ横文字ヲモ讀マヒ一科一學  
モ實事ヲ押ハ其事ニ就ト其物ヲ從ヒ近ク物事ノ道理  
ヲ求テ今日ノ用ヲ達スベキナリ右ハ人間普通ノ實學



ニテ人タル者ハ貴賤上下ノ區別ナク皆悉クタシナム  
ミキ心得ナレバ此心得アリテ後ニ士農工商各其分ヲ  
盡シ銘々ノ家業ヲ營ミ身モ獨立シ家モ獨立シ天下國  
家モ獨立スベキナリ

○學問ヲスルニハ分限ヲ知ル事肝要ナリ人ノ天然生  
附ハ繫ガレズ縛ラレズ一人前ノ男ハ男一人前ノ女

ハ女ニテ自由自在ナル者ナレドモ唯自由自在トシ

唱ヘテ分限ヲ知ラザレバ我儘放盪ニ陷ルコト多シ即

予其分限トハ天ノ道理ニ基キ人ノ情ニ從ヒ隨人ハ妨  
ヲ爲リズシテ我一身ノ自由ヲ達スルコトナリ自由ト  
我儘トノ界對他人ノ妨ヲ爲スト爲サミルトノ間ニ  
リ譬ハ平自分ノ金銀ヲ費シテ爲スコトナレバ假令ヒ  
酒色ニ耽リ放盪ヲ盡スモ自由自在ナルベキニ似タレ  
トモ変シテ然ラズ一人ノ放盪ハ諸人ノ手本トナリ遂  
ニ世間ノ風俗ヲ亂リテ人ノ教ニ妨ヲ爲スガユヘニ其  
罪ス所ノ金銀ハ其人ノモノタリトモ其罪許スベカラ

ズ又自由獨立ノ事ハ人ノ一身ニ在ルノミナラズ一國  
ノ上ニモアルコトナリ我日本ハ亞細亞洲ノ東ニ離レ  
タル一個ノ島國ニテ古來外國ト交ヲ結バズ獨リ自國  
ノ產物ノミヲ衣食シテ不足ト思ヒシコトモナカリシ  
ガ嘉永年中アメリカ人渡來セシヨリ外國交易ノ事始  
リ今日ノ有様ニ及ビシコトニテ開港ノ後モ色々ト議  
論多ク鎖國攘夷ナド、ヤカマシク云ヒシ者モアリシ  
カドモ其見ル所甚ダ狭ク談ニ云フ井ノ底ノ蛙ニテ其

議論取ルニ足ラス日本トテモ西洋諸國トテモ同シ天  
地ノ間ニアリテ同ジ日輪ヲ照ラサレ同ジ月ヲ朧ノ海  
ヲ共ニシ空氣ヲ共ニシ情念相同ジキ人民ナレハコハ  
ニ餘ルモノハ彼ニ渡シ彼ニ餘ルモノハ我ニ取り互ニ  
相教ヘ互ニ相學ビ耻ルコトモナク誇ルコトモナク互  
ニ便利ヲ達シ互ニ其幸ヲ祈リ天理人道ヲ從テ互ノ交  
ヲ結ビ理ノタメニハコワリ國ノ黒奴並テ恐中リ道ノ  
タメニハ英吉利亞米利加ノ軍艦ヲモ恐ル令國ヲ辱辱

ズシテ我僂放濫ニ陷ル者ト云フベシ王制一度新ナリ  
シヨリ以來我日本ノ政風大ニ改リ外ハ萬國ノ公法ヲ  
以テ外國ニ交リ内ハ人民ニ自由獨立ノ趣旨ヲ示シ既  
ニ平民ハ苗字乘馬ヲ許セシガ如キハ開闢以來ノ一美  
事士農工商四民ノ位ヲ一樣ニスルノ基コ、ニ定リタ  
リト云フベキナリサレバ今ヨリ後ハ日本國中ノ人民  
ニ生レナガラ其身ニ附タル位ナド、申スハ先ツナキ  
姿ニテ唯其人ノ才徳ト其居処トニ由テ位モアルモノ

ナリ譬へバ政府ノ官吏ヲ粗略ニセザルハ當然ノ事ナ  
レ氏コハ其人ノ身ノ貴キニアラズ其人ノ才徳ヲ以テ  
其役義ヲ勤メ國民ノタメニ貴キ國法ヲ取扱フガユ  
ニコレヲ貴ブノ人ノ貴キニアラズ國法ノ貴キナリ  
舊幕府ノ時代東海道ニ御茶壺ノ通行セシハ皆人ノ知  
ル所ナリ其外御用ノ鷹ハ人ヨリモ貴ク御用ノ馬ニハ  
往來ノ旅人モ路ヲ避ル等都テ御用ノ二字ヲ附レバ石  
ニテモ瓦ニテモ恐ロシク貴キモノ、ヤウニ見ヘ世ノ

中ノ人モ數千百年ノ古ヨリコレヲ嫌ヒナガラ又自然  
ニ其仕來ニ慣レ上下互ニ見苦シキ風俗ヲ成セシコト  
ナレドモ畢竟是等ハ皆法ノ貴キニモアラズ品物ノ貴  
キニモアラズ唯徒ニ政府ノ威光ヲ張リ人ヲ畏シテ人  
ノ自由ヲ妨ゲントスル卑怯ナル仕方ニテ實ナキ虛威  
ト云フモノナリ今日ニ至リテハ最早全日本國內ニ斯  
ル淺マシキ制度風俗ハ絶テナキ筈ナレバ人々安心イ  
タシカリソメニモ政府ニ對シテ不平ヲ抱クコトアラ

バコレヲ包ミカクシテ暗ニヒヲ怨ムルコトナク其路  
ヲ求メ其筋ニ由リ靜ニコレヲ訴テ遠慮チク議論スベ  
シ天理人情ニサヘ叶フ事ナラバ一命ヲモ抛テ争フベ  
キナリ是即チ一國人民タル者ノ分限ト申スモノナリ

○前条ニ云ヘル通り人ノ一身モ一國モ天ノ道理ニ基  
テ不羈自由ナルモノナレバ若シ此一國ノ自由ヲ妨ゲ

ントスル者アラバ世界萬國ヲ敵トスルモ怨ルニ足  
ラズ此一身ノ自由ヲ妨ゲントスル者アラバ政府ノ官



吏モ憚ルニ足ラズマシテコノゴロハ四民同等ノ基本  
モ立チシヨトナレバ何レモ安心イタシ唯天理ニ従テ  
存分ニ事ヲ為スベシトハ申ナガラ凡ソ人タル者ハ夫  
々ノ身分アレバ亦其身分ニ従ヒ相應ノ才徳ナカルベ  
カラズ身ニ才徳ヲ備ントスルニハ物事ノ理ヲ知ラザ  
ルベカラズ物事ノ理ヲ知ラントスルニハ字ヲ學バザ  
ルベカラズ是即チ學問ノ急務ナル訳ナリ昨今ノ有様  
ヲ見ルニ農工商ノ三民ハ其身分以前ニ百倍シヤガテ

士族ト肩ヲ並ルノ勢ニ至リ今日ニテモ三民ノ内ニ人  
物アレバ政府ノ上ニ採用セラレバキ道既ニ開クタル  
コトナレバヨク其身分ヲ顧ミ我身分ヲ重キモノト思  
ヒ卑劣ノ所行アルベカラズ凡ソ世ノ中ニ無知文盲ノ  
民ホド憐ムベク亦惡ムベキモノハアラス智惠ナキノ  
極ハ耻ヲ知ラザルニ至リ己ガ無智ヲ以テ貧究ニ陷リ  
飢寒ニ迫ルトキハ己ガ身ヲ罪セズシテ妄ニ傍ノ富ル  
人ヲ怨ミ甚シキハ徒黨ヲ結ビ強訴一揆ナドハテ乱妨

ニ及ブコトアリ耻ヲ知ラザルトヤ云ハシ法ヲ恐レズ  
トヤ云ハシ天下ノ法度ヲ頼テ其身ノ安全ヲ保チ其家  
ノ渡世ヲイタシナガラ其頼ム所ノミヲ頼テ己ガ私欲  
ノ為ニハ又コレヲ破ル前後不都合ノ次第ナラズヤ或  
ハ遇々身本性ニシテ相應ノ身代アル者モ金錢ヲ貯ル  
コトヲ知リテ子孫ヲ教ルコトヲ知ラズ教ヘザル子孫  
ナレバ其愚ナルモ亦怪ムニ足ラズ遂ニハ遊惰放蕩ニ  
流レ先祖ノ家督ヲモ一朝ノ煙トナス者少カラス斯ル

志シテ物事ノ理ヲ知リ文明ノ風ニ赴クコトアラバ政  
府ノ法モ尚又寛仁大度ノ場合ニ及ブベシ法ノ苛キト  
寛ヤカナルトハ唯人民ノ徳不徳ニ由テ自カラ加減ア  
ルノミ人誰カ苛政ヲ好テ良政ヲ惡ム者アラン誰カ本  
國ノ富强ヲ祈ラザル者アラン誰カ外國ノ悔ヲ甘ンズ  
ル者アラン是即チ人タル者ノ常ソ情ナリ今ノ世ニ生  
レ報國ノ心アラン者ハ必ズシモ身ヲ苦シメ思ヲ焦ス  
ホド必心配アルニアラズ唯其大切ナル目當ハコノ人

端書

此度余輩ノ故郷中津ニ學校ヲ開クニ付學問ノ趣意ヲ  
記シテ舊ク交リタル同郷ノ友人ヘ示サンガタメ一冊  
ヲ綴リシカバ或人コレヲ見テ云クコノ冊子ヲ獨リ中  
津ノ人ヘノミ示サンヨリ廣ク世間ニ布告セバ其益モ  
亦廣カルベシトノ勸ニ由リ乃チ慶應義塾ノ活字版ノ  
以テコレヲ摺リ同志ノ一覽ニ供フルナリ

明治四年未十二月

明治六年四月

真片假名再刻

小幡篤次郎

記

福澤諭吉

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like '真片假名' and '再刻']*

卷之六

七

八

